

霜月愛南文芸

みなみうわ俳句会

よもやまの話はなしを掬すくいかき氷
 会あうだけで帰かえる娘こと孫釣まごつりしのぶ
 蟻ありと蟻ありひそひそひそと擦すれ違ちがう
 日は遠とほく風かぜにそよそよ青簾あおすだれ
 川音かわおとに涼すずしさもらう散歩道さんぽみち

西海俳句会

初めてのデーサービスや天高てんたかし
 千鳥賊ちどりぞくの世話せわも年々ねんねん厭いやになり
 天高てんたかし地図ちずに丸まるをし旅たびを恋こう
 芒すすきふりふり登校とうこうの童わらわらよ
 貼はり替かえる障子しょうじ明ありに目覚めめけり
 檳榔子べんろうし俳句会
 秋簾あきすだれわが家やになじむ色いろとなり
 白桃はくとうの紅べに移うつろへる阿弥陀堂あみだどう

濱 初榮
 清水 麗子
 木村 智子
 竹村 勝利
 中川千代子
 吉田 笑代
 浜木チズエ
 利根早智江
 吉田 勝也
 吉田 弘定
 三好ミキエ
 五島 節子

秋あきすだれ外はし漁火いさりび近ちかくなる
 白桃はくとうや食たべごろに來くる不意ふいの客きやく
 ひとりごつだけの一日いちにち秋暑あきあつし
 踏ふみ入りし仏間ぶつまに桃ももの香かほりかな
 賜たまはりし白桃はくとう一個いっこの重おもみかな
 白桃はくとうや吾子あこの頬ほっぺのふくふくと
 義足ぎそくにて秋空あきぞら翔かける人ひとがいる
 疫病えびやみにも人ひとにも疲つかれ秋簾あきすだれ

内海俳句会

忙せわしなや夜明よあけに走はしる夜這星よばいぼし
 老らうの愚痴煙ぐちけりにまいて秋あきの魚焼さかなやく
 空蟬うつせみの夢ゆめは虚空きやくうえ彷徨さまよえる
 大野おおの分わかり尽つきぬ想念そうねん掻かき消けさる

濱野 康子
 田中 博子
 山口 董
 山口 和子
 吉田モミエ
 泉 くらら
 吉田 朝子
 井上 論天
 太田 信子
 岩森十志子

▶川柳人をご紹介します

篠南川柳会

千代子さん（正木）



知り合いの誘いを受け、私が篠南川柳会に入会したのは約15年前になります。

当時は川柳会を指導していた正木地区の国松幸枝先生から川柳の流れや基礎を学びました。その時は会員が少なく大変なことも多かったですが、会を続けてきたおかげで人数も増え、現在も楽しく句を詠むことができています。

私も80歳を過ぎましたが、これからもみんなと一緒に頑張っ、会に一人でも多く入っていただけるように続けていきます。

※名前は、川柳名です。

はじめまして。赤ちゃん。

9月受け付け分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

9月受け付け分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。